

2022 年 1 月 23 日

ほしぞらサロン 2021 年 12 月議事録

文責: 阪本 麻裕

日 時: 2021 年 12 月 25 日(土) 18:00~22:00

場 所: ユリックス会議室 1

参加者: 篠原, 高尾, 高木, 濱島, 宮田, 山田(明)

(50 音順、敬称略)

職 員: 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 11 名

ほしぞらサロン開始前にクリスマスツリーや飾りの片付けを行った。

1. 2022 年の年間計画について

1-1. ほしぞらウォッチング(観望会)について

2022 年の観望会は、計 5 回を予定している。スタンプカードも実施予定であるが、認定証等は用意しない。

★ 3 月 5 日(土)「冬の星空」

19:00~19:30 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

19:30~20:30 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 6 月 18 日(土)「太陽の観察」 ※ 夏至 [6 月 21 日(月)] の 3 日前

17:00~18:00 太陽の観察(ユリックス正面玄関前)

18:15~18:45 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

※ 雨天時は、17 時よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 8 月 20 日(土)「夏の星空」

19:30~20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00~21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時 30 分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 9 月 10 日(土)「中秋の名月」 ※ 2022 年の中秋の名月は 9 月 10 日(土)

20:00~21:00 月[満月]の観望(風の丘)

※ 雨天時は、20 時よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 10 月 15 日(土)「木星・土星」

19:30～20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時 30 分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

※ 2023 年の初回の観望会は 3 月上旬頃が良いのではないかという話も出ている。

角田： 11 月 8 日(火)に皆既月食が起こる。さらに、皆既月食中に天王星が月に隠される天王星食も起こる。平日であるため、Youtube で中継をする予定である。

宮田： 天王星の明るさはどのくらいか。

角田： 6 等ほど。11 月 9 日(水)に天王星が衝となる(5.6 等)。

篠原： 20 時 20 分頃に皆既の状態になる。天王星は 21 時 15 分頃に月の暗くなっている方から出てくる。

● ほしぞらウォッチングの際の感染防止対策について

望遠鏡の接眼レンズ(アイピース)に、底に穴を開けた紙コップを差し込んで、お客さんに見てもらっている。状況によって変更する可能性があるが、今のところ継続する見通しである。

1-2. ほしぞら友の会(小学生向け講座)について

例年、年に 12 回、ほしぞら友の会を開催している。以前は、毎月第 3 土曜日に行っていたが、学校行事と被るため、2021 年度は毎月第 2 土曜日に変更して実施している。2021 年度と同様、2022 年度も毎月第 2 土曜日に行う予定である。以下、2022 年度の予定(案)である。

===== 予定(案) =====

4 月 9 日(土)	オリエンテーション・春の星座
5 月 14 日(土)	プラネタリウムのしくみ
6 月 11 日(土)	望遠鏡工作
7 月 9 日(土)	月の観察・夏の星座【予備日:未定】
8 月 6 日(土)	ペットボトルロケット工作&打ち上げ
9 月 10 日(土)	太陽系と宇宙の広がり・秋の星座
10 月 8 日(土)	火薬ロケット工作
11 月 12 日(土)	火薬ロケット打ち上げ
12 月 10 日(土)	流星について
1 月 14 日(土)	日時計工作・太陽の観察
2 月 11 日(土・祝)	地球について・冬の星座
3 月 11 日(土)	星の一生について

=====

→7月9日(土)の「月の観察」は、悪天候で月が見えないとき、8月6日(土)に予定している「ペットボトルロケット工作&打ち上げ」と入れ替える場合がある。7月14日(木)が満月であるため、14日(木)以降の実施は難しい。

また、8月の実施分については、第2土曜日が盆休みになるため、第1土曜日に行う予定である。

1-3. ほしぞらサロンについて

月に1回、職員やほしぞらスタッフで話し合いを行っている。今年も例年どおり、毎月末の土曜日に実施予定である。

1-4. ほしぞら合宿について

例年、プリンセス駅伝開催に伴う休館日[2022年は10月23日(日)の予定]に併せて、合宿を実施している。2020年度は宿泊をせず、日帰りでミニ合宿を行った。2021年度は月の条件や出張観望会の依頼などにより、開催できなかった。さらに、11月の毎週土・日曜日には市民図書館の読書月間にあわせたイベントが行われたため、開催を見送った。

1-5. 大島での出張観望会の依頼について

毎年旧暦七夕(8月7日)に、日本七夕伝説発祥の地と云われる大島で、七夕まつりが開催されている。※ 2021年は中止となった。

この七夕まつりにあわせて、宗像市より出張観望会を依頼される可能性がある。過去に、大島と宗像市が合併した周年記念で訪れたことがあった。復路の船がなかったため、民宿に宿泊をした。依頼があれば、参加者や交通手段等を検討した上で、応じる予定である。

宮田：大島で合宿も兼ねてできると良い。

角田：8月7日は日曜日であるため、翌日仕事があるスタッフが多い。可能であれば、復路の船があると良い。

高尾：臨時便等の情報を調べてみようと思う。

1-6. クリスマスの活動について

毎年12月の土・日曜日のこども向けプログラムの前後に、職員やスタッフがサンタやトナカイ等の格好をしてお出迎え・お見送りしている。今年も昨年と同様に、感染防止のため、衣装の使い回し(共用)は避け、期間中は各個人が同じものを着用するようにして実施した。

2. アドバイザー制度による観望会案について

4年ごとに指定管理者制度が更新される。同時に、2022年度より2年間、市の文化施設等に民間企業の力を導入する、アドバイザー制度が始まる。案として、流れ星の観望会等が出ている。

角田：特に、年末年始や盆休みの時期は、駐車場を開放しているため、実施しやすいのではないかな。

小野田：ただし、2022 年 8 月のペルセウス流星群は満月であるため、観望の条件はとても悪い。

角田：面白そうだが、職員側の体力がもたない可能性がある。また、開催時間をどうするのかも考えなければならない。

3. 備品の更新について

約 20 年を目処に、望遠鏡・双眼鏡等の機材を更新している。現在所持している反射望遠鏡の鏡の部分が剥がれてしまっているため、新しい反射望遠鏡を購入する予定である。また、太陽望遠鏡 (CORONADO) に関しても、2007 年で導入しているため、そろそろ更新の時期を迎える。

→2021 年度または 2022 年度の予算に入れるか検討中。

3. 1 月の活動について

★ 1 月 8 日 (土) ほしぞら友の会 (13:30～16:00 日時計工作・太陽の観察)

★ 1 月 29 日 (土) ほしぞらサロン (18:00～22:00)

次回のほしぞらサロンは、2022 年 1 月 29 日 (土) です。